

型倒産および不況型倒産が多量に発生している。倒産発生が静化が続いた1年だった」としている。

「従業員は家族」心に

NPO法人「GMS」講演・交流会

「千房」社長が経営語る

事業開拓の経営者、起業家を支援するNPO法人「チャレンジ企業支援隊」「グロバルマネジメントサポート」「インクパートナーズ(GMS)」(山崎健一郎理事長)の新春講演・交流会(奈良新聞社など後援)が、大阪府門真市のパナソニック

企業年金基金松心会館で開かれた。

講師は拘留所や刑務所で篤志面接委員を務め、受刑者の改善更生や刑務所出所者の雇用支援で人生のやり直しを応援している、お好み焼き「千房」(大阪市)の中井貴二社長。「経営は終わりのない駅伝―従業員

が世界一幸せな会社を目指して」で講演した。

中井氏は、大学時代に学問に対する甘い姿勢を創業者の父親からとがめられた経験に触れ、「私が生活で苦しいのは、日々汗を流して頑張ってくれている従業員のおかげと諭された」と回想。その上で「従業員は家族」との父親の方針をあらためて心に刻み、人を育てることの大切さを知ったとした。

またイスラム教徒の食事に対応した店舗を昨年大阪にオープンし、海外展開も進める現状も紹介。「次期社長候補として厳しく育てられた亡き兄が2代目で、比較的自由を与えられている私は3代目。さらにチャレンジして新しい千房をつくり、次世代へつなげていきたい」と語った。

このほか講演会後には交流会も行われた。



従業員の育成などについて話す千房の中井社長。大阪府門真市のパナソニック企業年金基金松心会館